

- 大腸がん検診について -

次に大腸がんになるのはあなたかも知れません

がん患者の増加が止まりません。現在、女性における癌死亡原因第1位であり、第3位の男性においても3～4年以内に第1位になると予想されています。各自治体や企業では、大腸がんの早期発見のため大腸がん検診を行っています。大腸がんの検査と言うと、大腸を直接観察する検査を思い浮かべるかもしれませんが、大腸がん検診は便に潜む血液の有無を調べる検査、いわゆる検便を行います。便を検査する事でがんにかかっているかどうかを調べるわけです。これは大腸がんやポリープがあると、便が腸内を移動する際に便と組織が擦れて血液が付着することを利用してしています。便潜血検査では便に血が混じっているかどうか調べ、目に見えないわずかな出血も検知することが可能です*。便潜血検査は大変優れた検診であり、がん検診の中でも最も死亡率が下がる事が証明されています。便の採取は自宅で行う事が出来ます。便の表面を採便用の棒でまんべんなくこすり、通常2日間分の便を採取します。“肉を控える”などの食事制限の必要もない簡単な検査です。さて、大腸がん検診である便潜血検査にて“陽性”となった方へのお願いです。便潜血検査が陽性になった場合ですが、たとえ2回のうち1回でも陽性の場合は大腸内視鏡検査あるいはそれに準ずる検査**を受けてください。「きっと痔だろう・・・」などとして流してはいませんか？ 残念ながら各自治体では、毎年便潜血陽性患者が二次精密検査を受けず、その後進行大腸癌となって発見される例が後をたちません。日本消化器病学会でも「1回でも陽性なら大腸内視鏡検査」を推奨しております。まだ受診されていない方は、ぜひ大腸がん検診である便潜血検査を受け、必要に応じ大腸内視鏡検査などを受けてください。大腸がんの早期発見・早期治療、そして死亡率低下にご協力を！

* 便潜血陰性でも、必ずしも大腸がんが完全に否定されているわけではありません。担当医師とご相談ください。
** 現在一部の施設で可能なCTコロノグラフィーやバリウム注腸など



多摩東部地域産業保健センター 〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 3-38-4 三鷹産業プラザ 404

TEL 422-24-6906 FAX 0422-24-6908

HP <http://www.sanpo-tama.jp/>

メールアドレス sanpo@kind.ocn.ne.jp